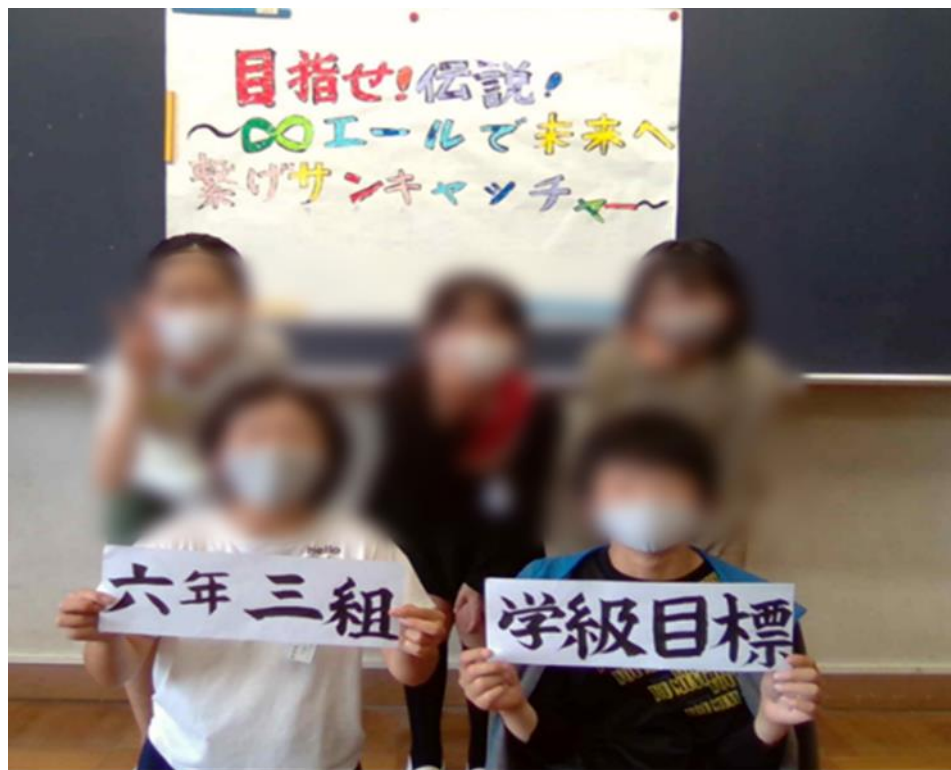


学級経営の充実に向けた取組とその効果

主体的に学ぶ児童の育成
～考えを深める手立ての工夫を通して～



笛吹市立御坂西小学校

学級経営の充実に向けた取組 御坂西小ver.

研究目標

互いに認め合い、励まし合い、高め合う集団をつくることにより、主体的に学ぶ児童の育成を図る。

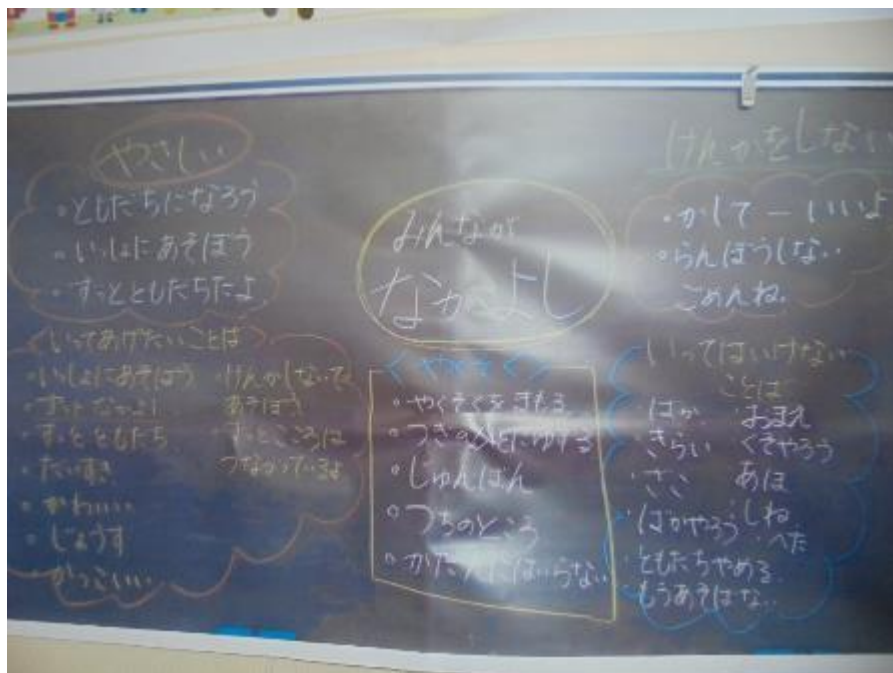


学級力向上プロジェクトの生かし方

学級開き

どんな一年間にしたいか
自分がどう変わりたいか
どんなクラスを作りたいか

子どもが主役



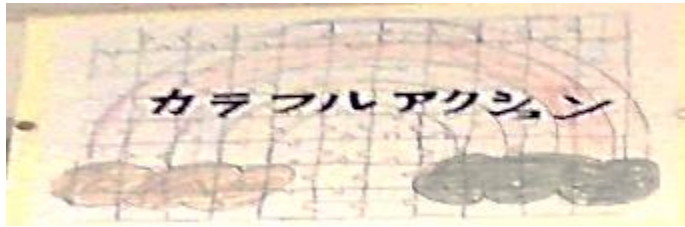
具体例の紹介① ビー玉貯金



何を価値付けるか

- ・個→グループ→学級→学校へ
- ・教師の言葉を磨く
- ・誰かのせいにせず、みんなで考え、取り組む
- ・一人一人の願い・成長をすくい取る

具体例の紹介② カラフルアクション



- ◎目的がぶれないこと(目的)
- ◎基準がはっきりしていること(評価)
- ◎見える化すること(成長の実感)

すきま時間にしゃべらない

授業中の自由コマテスト直し並ぶときに
いいさわさわをしていたら 1P

→ 校長たちに聞く → 毎年1校時
つつみんなからで校長たちにきくシール
は1~6班の表を作。てできただけシール
をはる。

宿題10速プロジェクト!

○ 班で(はいつくばり)名前あるところに
だせたら○をして出せたらXをしまつ
それるクラスでかばんし全員出せてたら

1Pです。
(見える化する) イメージ

10									
9									
8									
7									
6									
5									
4									
3									
2									
1									

ポイント表という表に
全員出せたら○をする

発言の積極性を高める

- 班員が全員発言できたら 1P。
- 発言が苦々な人は周り意見と共有できたら発言したとなる。
- 1P=シール1まい。

3班

モカヒカそうじ

<目的>
そうじをするときに、無言清浄、集中する心、手洗などのことを意識して、学校をモカヒカにする。

<取り組み方>
○ 毎日全体で振り返りする(その日そうじを◎◎◎○△で評価する)
○ 1班員で振り返りをしたさい。
○ 振り返りをして、◎の班員がどれくらいあつたか言合する
○ 全員の◎を黄色のテープで上へ貼る。テープの上へ◎のテープを貼る。◎のテープを貼る。
○ 4班員がテープを貼る。その日の振り返り、シールをはる。

<達成タイム>
3日連続全員のテープを貼る達成!

4班

かんせん予防

活動内容
手洗い、マスク着用の呼びかけ

↓

となりの人と確認をし、全員できたら、
シールをはる

↓

シールが20こたまったら、達成

取り組み

◎ 室内のすこしか

- 休み時間のときに室内で走らなからOK。
- もし走ってしまったら、だれか注意して、止めればOK。そのあと続けない。

15
空手ピースのバズルを完成させようとする。(室内のすこしかが出来たら、1日1人ずつはめていく。5日間出来たら完成しない。)

1人守れたらOK。7やつでどんどんみまじいく。

15人以上守れたらOKで守れたら、次は20人以上でこぼす。

具体例の紹介② カラフルアクション



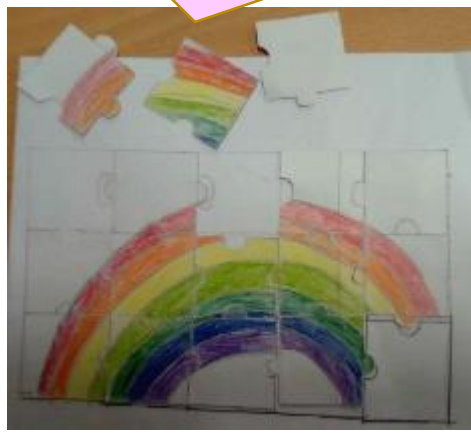
3班の全員発言の取り組み。
学級目標「サンキャッチャー」
にちなんだ形に。

日付	1班	2班	3班	4班	5班	6班	日付
4/25							4/25
4/27	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	4/27
4/28	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	4/28
4/29	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	4/29
4/30	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	4/30
5/1	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	5/1
5/2	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	5/2
5/3	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	5/3
5/4	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	5/4
5/5	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	5/5

4班の取組。そうじの振り返りシートを
作成。毎日掃除の振り返りを全体で
行い、その様子を記録し、掲示。

6班はパズルを作成。守れたら
ピースを貼ってもらう。走ってし
まった人がいたとき、誰かが声
をかけてやめればそれでもOK。

1班の取組。守れた分ポイント制
にして掲示。是か非かではなく、
できた分はポイントが入る仕組
み。



自分たちの班の活動の意識は高まったものの、他の班の取組への意識がなかなか高まっ
ていない…。そこで、他の班の取組にも目を向け、クラスみんながあつながって成長できるよ
うに「みんなであつなげ!無限のわ」を作成。

具体例の紹介③ 学校力向上プロジェクト

◇ 学校力アンケート

がっこう力アンケート

第 回 (月)

年 組 番
名前



◎ 私たちの学校について、それぞれの文の4つのマークの中からひとつずつ○をつけましょう。

とてもあてはまる 少しあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

やりとげる力

① 私たちのがっこうは、じどうかいのテーマにむかって、力をあわせてとりこんでいます。

じどうかいのテーマ「えがおの西小〜みんなでつなげ!カラフルブリッジ〜」

話をつなげる力

② 私たちのがっこうは、話をしている人を見て、さいごまでしっかりと聞いています。

ささえあう力

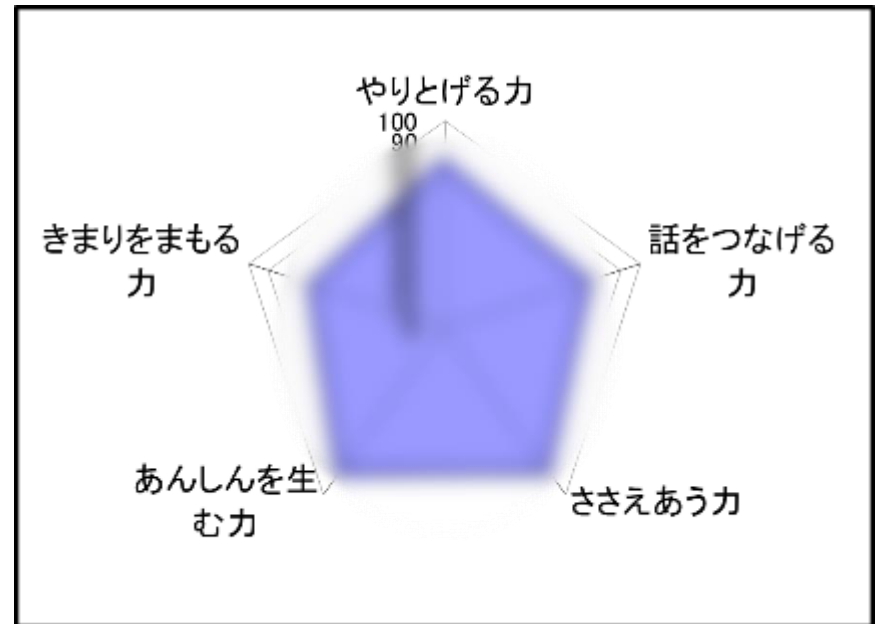
③ 私たちのがっこうは、あそびやくみぐんのかつどう、そうじて教えあいや助けあいをしています。

あんしんを生む力

④ 私たちのがっこうは、ともだちを元気づけることをいたり、よいことにはくしゅをしたり、はげましあったりしています。

きまりをまもる力

⑤ 私たちのがっこうは、学校のきまりをまもっています。



目標をやりとげる力	
話をつなげる力	
友だちを支える力	
安心を生む力	
きまりを守る力	

・教師の学び

子どもたちの状況を受け止める



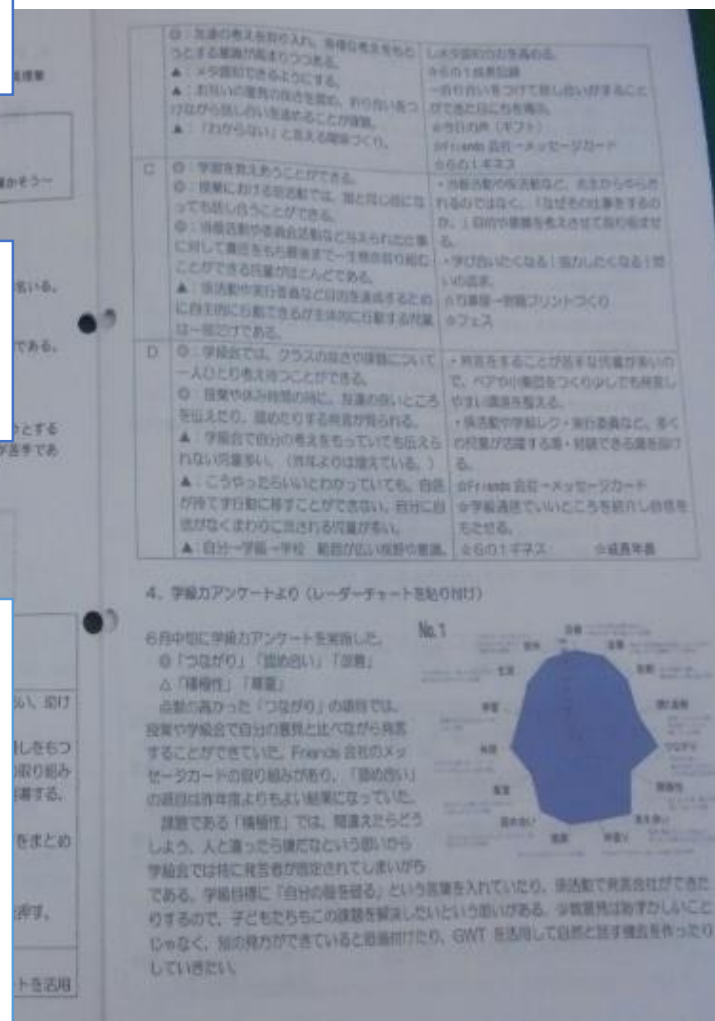
スマイルアクションの共有・成果の確認



指導の改善に生かす

レーダーチャートに一喜一憂しない
引き出しを増やす
全員で参加
その気にさせる

- ・優しい激励
- ・激しく統率力を出す激励
- ・気持ちに寄り添う激励



学級づくりをベースとした授業づくり

～ 主体的に学ぶ児童の育成 考えを深める手立ての工夫を通して ～



笛吹市立御坂西小学校

よりよい授業づくりに向けて

教育環境を整える

学級づくりと授業づくり



意識していること



ルール



リレーション



チャンス



モチベーション

安心できる環境



表現する機会



肯定的な
フィードバック



主体的な学び

・学級づくりで大切にしていること

(1) 時間設定と厳守

取組の時間を明示し見通しを共有する。

時間を守る=時間の共有=信頼・安心の共有

(2) 常に丁寧な言葉づかい

呼び名、敬語、返答 → 安心できる人間関係

(3) 言葉で表現する機会を大切にする

自己の感情や考え・他者からの好意的な評価

今日のぽかぽか、係からの連絡

具体例の紹介 ① 少人数を生かした全員参加の授業

・少人数を生かした授業づくり

(1) 指導や評価に生かす机間指導

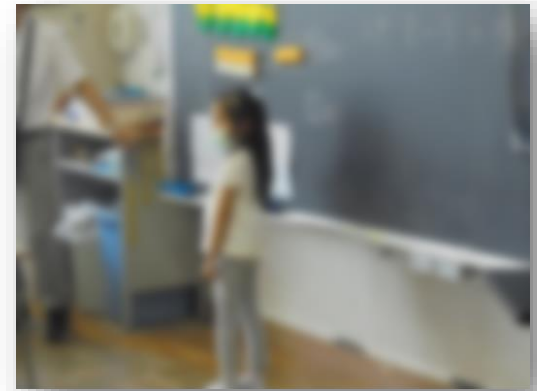
全体の把握、個別の把握、共に対応がしやすくなる。プロセスの見取り。

(2) 発表の機会

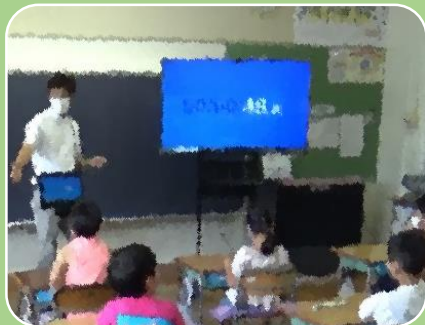
考えを表現する機会を大切にする。挑戦してよかったと思える発表に。

(3) 素早いフィードバック

分からないことを分からないままにしない指導。



具体例の紹介 ② ICTの積極的な活用



ストップウォッチ

「計算カード」の上達を記録する。

「あといくつで10」クラス全体で力を付ける。



カメラ機能

個人のノートを記録したり共有したりする。

読み聞かせ、ノート指導にも生かす。



大型モニター

板書と併用することで、それぞれの長所を生かす。

興味・関心・意欲を引き出す。→対話的な学習へ

まとめ

- 学級づくりと授業づくりの双方から学力の向上を目指す。
- 安心できる教育環境を整える。
- ICTのよさを見極めて、効果的な活用を目指す。



第1学年 道徳科指導案

笛吹市立御坂西小学校

1 主題名 相手を思いやって (B-6 親切、思いやり)

あたたかいところで 教材名「くりのみ」／教育出版「しょうがくどうとく1」2019

2 育てたい児童の姿

- ①相手のことを考えて、思いやりの心をもって行動することの大切さに気付く。
- ②思いやりのある行動とは何か、相手の立場になってさまざまに考える。
- ③望ましい行動から、よりよい自分の姿を見いだそうとする意識を高める。

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

「親切、思いやり」に関する内容項目は、低学年においては「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること」とされている。また小学校学習指導要領解説では、指導に際しては、「幼い人や高齢者、友達など身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにすることが必要である。」とも述べられている。

本教材「くりのみ」は、自分のことしか考えていなかったきつねが、うさぎの思いやりの心にあふれた優しさにふれて、自分のことを省みて涙するという物語である。きつねの流した涙の意味を考えることによって、思いやりの心をもってこれからの小学校生活を送ろうとする意識を高めたい。

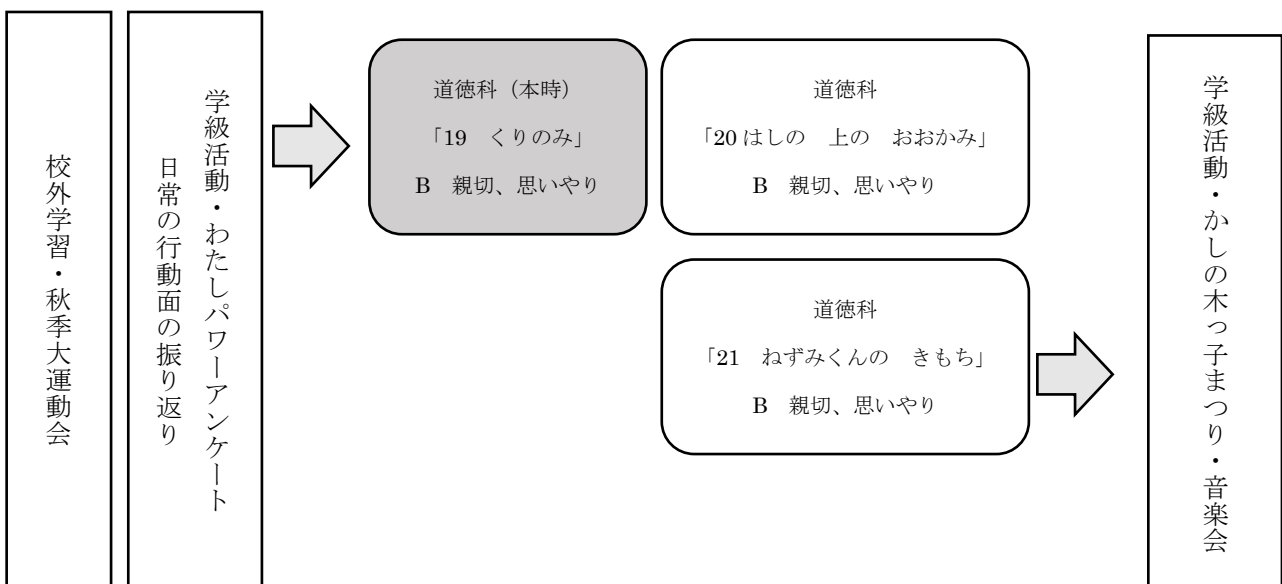
(2) 教材について

本教材では、北風の吹いている中で餌を探しに来たきつねとうさぎの行動が対比的に描かれている。北風の吹いている中、きつねとうさぎはそれぞれ餌を探している。きつねは偶然たくさんのだんごりを見つけてお腹いっぱい食べ、残りのだんごりを落ち葉に隠すが、うさぎには餌が見つからなかったとうそをつく。それを聞いたうさぎは、やっと見つけた二つしかない栗の実の一つをきつねに渡す。渡された栗の実を見たきつねは涙を流す。

自分のことだけを考えるきつねと、困っている友達に対して思いやりの心をもって接するうさぎを対比したり、そうしたうさぎの姿を見て涙を流すきつねの気持ちを考えたりすることをおして、相手のことを考えてお互いに思いやりの心をもって行動することの大切さに気付かせたい。

【この教材と関連する内容項目、他の教科・活動】

〈内容項目〉 A 善悪の判断、自律、自由と責任 / B 友情、信頼



3 校内研究との関わり

(1) 令和4年度研究主題及び副主題

『主体的に学ぶ児童の育成 ～学び合いの手立ての工夫を通して～』

(2) 「学級力向上プロジェクト」について

本事業のアドバイザーである早稲田大学教職大学院の田中博之教授のご指導のもと、推進校において少人数教育のよさを生かしたきめ細かな指導を実現するため、「学級力向上プロジェクト」に取り組んだ。「R-PDCA サイクル」を基に、子どもたちが主体となって自身の学級について考え、学級力を高めるため、学級力アンケートで自分たちの学級を自己評価し、日々の学習や生活の中で実践的に仲間づくりをしていく取組である。

年間で4回「わたしパワーアンケート」を実施し、レーダーチャートの結果を基にして、学級力を向上させるための様々な取組（スマイルアクション）を児童と共に考え、実践した。本学級では、第1回のアンケートから、多くの項目が高い値となったが、「ささえあい」の項目が比較的低いという結果が出た。その結果から話し合いを経て、困っている友だちがいたら優しく声をかける「だいじょうぶ？どうしたの？さくせん」取組を考案し、実践した。成果として、困っている友だちに対して積極的に声をかけようとするが増えた。帰りの会の「今日のはなまる」では、支え合っている人を見つけて発表する児童も出てきた。その結果、第2回のアンケートでは、「ささえあい」の項目が高くなった。

4 少人数学級を生かしたきめ細かな指導について

(1) 個に応じた指導・支援

少人数学級では、より児童一人一人に目が行き届くようになる。授業では、特に机間指導に力を入れ、見通しがもてなかったり、難しさを感じていたりする児童に寄り添って声を掛けるといった、その子の特性に合わせた指導を実践した。

少人数ポイント
個に応じた指導・支援

(2) 丁寧なフィードバック

少人数学級では、丁寧な見取りを基にした児童一人一人へのフィードバックが可能である。授業中の児童一人一人に対する声かけの充実に加え、ワークシートや連絡帳などへコメントを記入する際に時間をかけることができる。児童の振り返りから、その子の学びを丁寧に把握することができる。その子の努力を賞賛したり、困難に立ち向かっている時には励ましたりするコメントを残すことで、次の学びに向かう力を与えることができる。

少人数ポイント
丁寧なフィードバック

(3) 一人一人に出番をつくる

少人数学級では、多くの児童に体験や発表の機会を保障することができる。自分の意見が全体で取り上げられる機会も多くなることで、学級の一員であるという所属感や自覚をもつことに繋がり、授業の内容について、自分事として捉え考えようとする態度を育むことができている。

自信をもって自分の考えを発表するために、ペアで互いの意見を伝え合う学習を取り入れる。また、児童が客観的に考えを見いだすためにも、互いの意見を共有できるような機会をつくり、他者の意見も踏まえて、意思決定できるようにする。個々の児童の活躍の場を多く設定する。

少人数ポイント
一人一人に出番をつくる

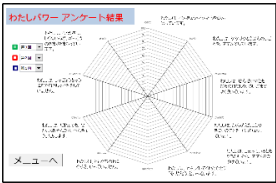


5 本時の学習


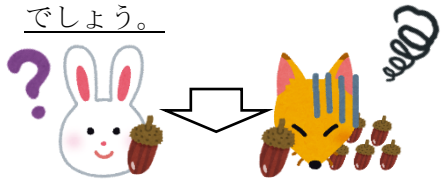
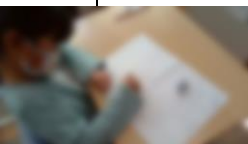
(1) ねらい きつねとうさぎの行動について考え、話し合うことを通して、身近にいる人に対して思いやりをもって接しようとする道徳的心情を育てる。

(2) 評価の視点

- ① 友達の考えにふれ、思いやりのある行動について、多面的・多角的に考えているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述)
- ② 相手のことを考えて、思いやりの心をもって行動することの大切さについて、自分との関わりで考えているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述)

(3) 展開

過程	学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	□評価の観点・方法 ・指導上の留意点
つかむ 5分	<p>1 わたしパワーアンケートのレーダーチャートを照らし合わせながら、日常生活を振り返る。</p> 	<p>○わたしパワーアンケート、レーダーチャートの「ささえあい」の数値があがったのはどうしてでしょう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffe0; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 困っているひとをたすけたから。 「どうしたの？大丈夫？」と声をかけてあげたから。 雑巾を綺麗に並べるのを、手伝ってあげたから。 </div>	<p>□評価の観点・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が思いついたことを自由に発言できる雰囲気をつくる。
<p>【めあて】 あいてを おもいやるって どういうことか かんがえよう。</p>			
考える 10分	<p>2 教材「くりのみ」を読んで考える。</p> 	<p>○みつけたどんぐりを隠している時、きつねはどう思っていたでしょう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffe0; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> やった。ぼくだけがたくさんどんぐりを食べられる。 独り占めしちゃおうかな。自分だけのものにしよう。 だれにもみつからないようにしないと、食べられなくなる。 あとでぼくがこっそり食べようかな。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 3つの場面で区切って話を展開させる。 きつねがどんぐりを隠す場面に注目させ、自分のことしか考えていないことを押さえる。
		<p>○うさぎさんはどんな気持ちでくりのみをあげたのかな。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffe0; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ひろえなかったきつねさんがかわいそうであげた。 本当はあげたくないけどきつねがおなかぺこぺこだからあげた。 きつねさんが悲しそうであげた。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> うさぎの気持ちにも、しっかりと触れることで、きつねのうそに気付かせる。 相手のこと(きつね)と自分のことを考えている点を押さえる。

	<p>3 きつねの涙について考える。</p> 	<p>○<u>きつねがぼたりと涙をながしたときどんな気持ちだったでしょう。</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>・きつねとうさぎの行動やその時の気持ちを対比しながら考えさせる。</p>
<p>深める 20分</p>	<p>・うさぎが優しくかったから。 ・うさぎさんだってお腹が空いているのに、二つのうちの一つを分けてくれてうれしいなと思ったから。 ・きつねは自分のことしか考えていなかったなと思ったから。 ・「うそをついてごめんね」と思ったから。</p>	<p>○<u>このあと、きつねはどうしたらいいでしょう。</u></p> 	<p>・ワークシートやノートに自分の考えを書く時間を確保し、きつねのとりうる行動を多面的・多角的に考えられるようにする。 □①友達の考えにふれ、思いやりのある行動について、多面的・多角的に考えているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述)</p>
	<p>・いくつかのペアは、全体の前でやり取りを発表する。</p>	<p style="text-align: center;">少人数ポイント 一人一人に出番をつくる 発表の頻度が上昇</p>	
<p>まとめる 10分</p>	<p>4 今後の自分自身のあり方について考える。</p>	<p>◎<u>自分だったら、どんな「おもいやり」のある行動ができるかな。考えてみよう。</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>・他の人のために何ができるか考えさせ、実践に向けて意欲が高まるようにする。 □②相手のことを考えて、思いやりの心をもって行動することの大切さについて、自分との関わりで考えているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述)</p>
	<p>5 本時を振り返る。</p> 	<p>補助：みんなは、このようなことをしてもらおうと、うれしいかな？</p>	<p style="text-align: center;">少人数ポイント 丁寧なフィードバック ワークシートへの充実したコメント</p>

(4) 板書計画

くりのみ

◎ あいてをおもいやるってどういうことかかんがえよう。



うさぎ

- ・きつねさん、かわいそうだからな
- ・こまっているからたすけないと
- ・きつねさんがかなしそう

きつね

- ・だれにもとられたくない
- ・あとでたべるためにかくしておこう
- ・じぶんだけが、ひとりじめしたい
- ・だれかにみつからないようにしないと

◎ じぶんだったら、あいてに どんなおもいやりの あるこうどうができるかな。

◎ きつねがぼたりとなみだをながしたときどんなきもちだったでしょう。



- ・うそをついてしまって、はんせいしたきもち。
- ・うさぎさんはやさしいなとおもうきもち
- ・くりのみをくれてうれしかった。
- ・うさぎさんほんとうはたべたかったはずなのに、
くれてうれしかったなとおもうきもち
- ・うさぎさんにわるいことしたなというきもち

うさぎのこともおもう

- ・けがしているともだちを、ほけんしつにつれていってあげる。
- ・こまっているともだちがいたら、やさしくこえをかける。
- ・わすれものをしてしまったともだちに、ものをかしてあげる。
- ・じぶんができることを、ともだちにやってあげたい。

6 成果と課題

【成果】

○本時においては、導入で「学級力向上プロジェクト」のアンケートを基にしたレーダーチャートを提示した。これまで学級で取り組んできたことと授業を結びつかせ、テーマを身近なものとして考えさせることができていた。

○少人数学級の利点を生かし、机間指導では丁寧に児童に声かけを、発表の場面では多くの児童に機会を与えることができていた。

○ペア学習としてロールプレイする場面を取り入れた。役になりきって会話のやりとりをしており、自分だったらどうするかという視点で深く考えることができていた。

【課題】

△ロールプレイの場面で活動が難しそうな児童がいる際には、事前いくつかの考えを候補としてカードにしておき、その子がカードを選ぶということを通して活動に参加させる方法も考えられる。

△少人数学級のよさを生かすために、教師がそれぞれの児童がもっている考えを結びつけていくための投げかけについて、今後も研究を深めていく必要がある。

